



—東地中海地域ニュース—

クウェイト：内政問題

(7月12日付アル・シヤーサ紙)

7月12日付アル・シヤーサ紙は、クウェイト内政について報じている。概要は次の通り。

1. ナッワーフ皇太子の政策関与について

政府高官筋は、ナッワーフ皇太子がナーセル首相及びアハマド・ファハド副首相兼開発問題担当国務大臣兼住宅問題担当国務大臣の出席の下、セキュリティや経済、教育分野における政府高官と公式に会談を行い、国民議会の次期会期で通過が見込まれている案件や法律について再検討する予定であると述べた。

また、情報筋によれば、ナッワーフ皇太子は国家総合計画についても閣僚会議での審査後に再検討し、事業計画の実施と国民議会への提出を閣僚会議に働きかけるよう求められているという。ナッワーフ皇太子は、政治、安全保障、経済環境を整えクウェイトを金融と商業のセンターへ変えるというサバーハ首長の指示の実施についてタイム・スケジュールを作成できると共に直に監督していく事になる。

2. 石油セクターの改革

今後数日以内に政府内ハイレベル会合が行われ、石油投資の拡大と安定した国際市場への開放を含む石油セクターの改革について議論される予定である。

情報筋によれば、アハマド・アブドッラー石油大臣が石油セクターの指導者をふるい分けし、改革をする計画をひそかに最近進めていると共に、国際企業と新たな協定を結び、東アジア諸国や米国に投資を拡大する計画があるという。